

背景・目的

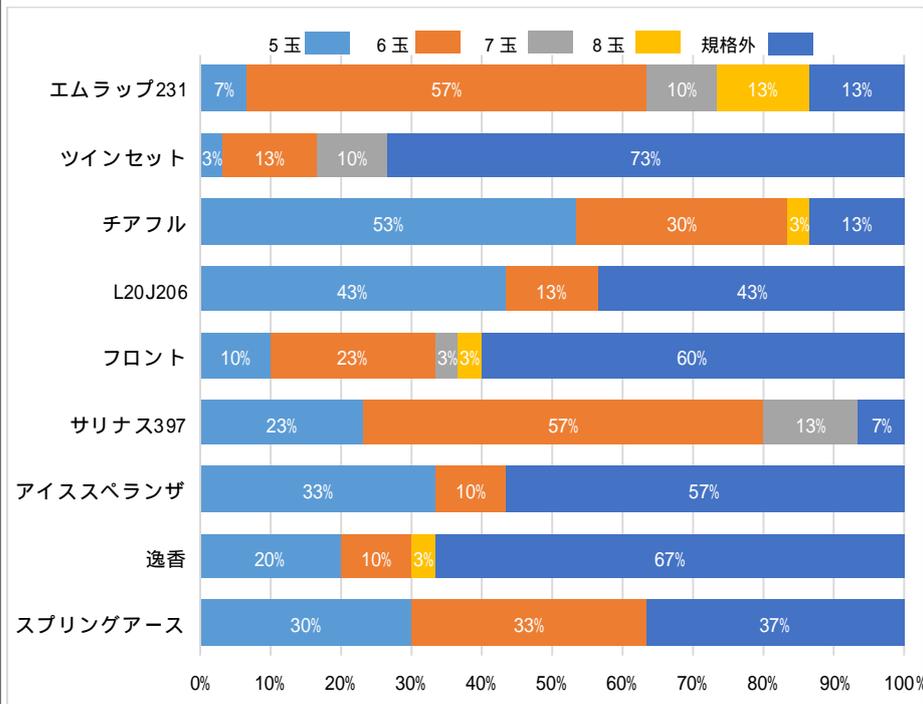
昨年、市内の6月どり露地栽培品種‘サリナス 88’の種子が販売停止となりました。
もう一つの栽培品種‘エムラップ 231’も比較的古い品種であるため、同様の事態に備え、有望品種の選定を目的として品種比較試験を行いました。

結果

播種日：3月28日，定植日：4月27日，条間30cm×株間30cm，銀ネズマルチ使用

品種名	規格内収量 (kg/10a)	結球期	収穫期	収穫日数 (日)	障害 (0:無～4:甚)
エムラップ 231 (標準)	2,896	6/ 1	6/21	9	2
ツインセット	855	6/ 6	6/22	6	4
チアフル	3,390	5/29	6/18	10	2
L20J206	2,311	6/ 2	6/23	8	4
フロント	1,290	6/ 2	6/21	6	4
サリナス 397	3,400	5/30	6/20	7	1
アイスペランザ	1,725	5/31	6/22	7	4
逸香 (UC-902)	1,303	6/ 3	6/22	7	4
スプリングアース	2,228	6/ 1	6/21	4	4

- ・収量性：A規格である6玉の比率が多い品種は‘サリナス 397’で，規格内収量が多い品種は‘チアフル’ ‘サリナス 397’でした。
- ・収穫期間：収穫日数が長く在圃性に優れている品種は‘チアフル’でした。
- ・障害：障害の発生が少ない品種は‘サリナス 397’でした。



結果の活かし方

最も有望な品種は，6玉比率，規格内収量が多く，障害の少ない‘サリナス 397’でした。
次いで有望品種となる可能性のある品種は，収穫期間が最も長く，収量が見込める‘チアフル’でした。